

令和5年度 理科 シラバス

1.	午前部	化学基礎	・・・	P 2
2.	午前部	科学と人間生活	・・・	P 3
3.	午前部	物理基礎	・・・	P 4
4.	午前部	化学	・・・	P 5
5.	午前部	生物基礎	・・・	P 6
6.	午前部	地学基礎	・・・	P 7
7.	午後授業	物理基礎	・・・	P 8
8.	午後授業	生物基礎	・・・	P 9
9.	午後授業	地学基礎	・・・	P 10
10.	午後授業	化学	・・・	P 11
11.	夜間部	化学基礎	・・・	P 12
12.	夜間部	科学と人間生活	・・・	P 13
13.	夜間部	物理基礎	・・・	P 14
14.	夜間部	生物基礎	・・・	P 15
15.	夜間部	地学基礎	・・・	P 16

化学基礎 (午前)	単位数	2単位
	履修区分	年次履修

1 科目の概要

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての理解を深めるとともに、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究する力や態度を養う。		
使用教科書	『化学基礎』（実教出版）	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	序章 物質と化学 1章 物質の構成	1節 物質の探究 2節 物質の構成粒子
	2章 物質と化学結合	1節 イオン結合 2節 共有結合と分子間力
後期	2章 物質と化学結合	3節 金属結合 4節 化学結合と物質
	3章 物質の変化	1節 物質量と化学反応式 2節 酸と塩基 3節 酸化還元反応

3 評価

評価は次の3観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察・実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	日常生活や社会の中で、物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

※令和3年度以前の入学生については、従来の評価方法による。

科学と人間生活 (午前部)	単位数	2単位
	履修区分	年次履修

1 科目の概要

学習目標	自然や科学技術と人間生活の深い関わりについて関心を高め、理解を深めるとともに、課題追究を行い、自然の事物・現象に対して科学的な見方・考え方ができる資質と能力を養う。		
使用教科書	『高等学校 科学と人間生活』(第一学習社)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	序章 科学技術の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達技術の発展 ・エネルギー資源の活用と交通手段の発展 ・医療技術の発展
	第Ⅰ章 物質の科学	第1節 材料とその利用
	第Ⅱ章 生命の科学	第2節 衣料と食品 第1節 ヒトの生命現象 第2節 微生物とその利用
後期	第Ⅲ章 熱や光の科学	第1節 熱の性質とその利用 第2節 光の性質とその利用
	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学	第1節 自然景観と自然災害 第2節 太陽と地球
	第Ⅴ章 これからの科学と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の設定と研究の進め方 ・2章 研究の課題例

3 評価

評価は次の3観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察・実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	日常生活や社会の中で、自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

※令和3年度以前の入学生については、従来の評価方法による。

生物基礎 (午前部)	単位数	2単位
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について関心を高め、理解を深めるため、課題追究に必要な基本的な技能を身につけ、科学的に探求するために必要な資質と能力を養う。		
使用教科書	『高校生物基礎 新訂版』(実教出版)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	1章 生物の特徴	1節 生物の多様性と共通性 2節 細胞とエネルギー
	2章 遺伝子とその働き	1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報の分配 3節 遺伝情報とタンパク質の合成
後期	3章 生物の体内環境とその維持	1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫
	4章 生物の多様性と生態系	1節 植生と遷移 2節 気候とバイオーム 3節 生態系と物質循環 4節 生態系のバランスと保全

3 評価

履修の条件	なし
評価の方法	出欠、授業態度、考査、提出物等により総合的に行います。
留意事項	卒業後、理系・医療・農学系の大学や、看護医療専門学校などへの進学を考えている人に向いています。
アドバイス	生物の多様性や共通性の学びを通して、私たちのからだのしくみについて理解を深めましょう。

地学基礎 (午前部)	単位数	2単位
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について関心を高め、理解を深めるため、課題追究に必要な基本的な技能を身につけ、科学的に探究するために必要な資質と能力を養う。		
使用教科書	『改訂 高等学校 地学基礎』(第一学習社)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	第1章 宇宙における地球	第1節 宇宙の構成 第2節 太陽 第3節 太陽系の中の地球
	第2章 活動する地球	第1節 地球の姿 第2節 火山活動と地震
後期	第3章 移り変わる地球	第1節 地層や岩石と地質構造 第2節 地球環境と生物界の変遷
	第4章 大気と海洋	第1節 地球の熱収支 第2節 大気と海洋の運動
	第5章 地球の環境	第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境

3 評価

履修の条件	なし
評価の方法	出欠、授業態度、考査、提出物等により総合的に行います。
留意事項	なし
アドバイス	宇宙における地球や変動する地球の姿を学び、変化する地球環境や自然環境の理解を深めましょう。

物理基礎 (午前部)	単位数	2単位
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについて関心を高め，理解を深めるため，課題追究に必要な基本的な技能を身につけ，科学的に探求するために必要な資質と能力を養う。		
使用教科書	『高校物理基礎 新訂版』(実教出版)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	1章 物体の運動	1節 運動の表し方 2節 力 3節 運動の法則
	2章 エネルギー	1節 運動とエネルギー 2節 熱とエネルギー
後期	3章 波	1節 波の性質 2節 音と振動
	4章 電気	1節 電流の流れ方 2節 電気の利用
	5章 人間と物理	1節 エネルギーとその利用 2節 物理学が拓く世界

3 評価

履修の条件	なし
評価の方法	出欠，授業態度，考査，提出物等により総合的に行います。
留意事項	主に計算問題を解く科目のため，「数学I」を履修後が望ましい。
アドバイス	運動の法則をはじめとする物理の基本法則を学び，計算問題を解きながら，さまざまな物理現象の理解を深めましょう。

化学 (午前部)	単位数	4単位
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付け、科学的に探究する力や態度を養う。		
使用教科書	『新編 化学』(数研出版)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	第1編 物質の状態	第1章 固体の構造 第2章 物質の状態変化 第3章 気体 第4章 溶液
	第2編 物質の変化	第1章 化学反応とエネルギー 第2章 電池と電気分解 第3章 化学反応の速さとしくみ 第4章 化学平衡
	第3編 無機化学	第1章 非金属元素 第2章 金属元素(Ⅰ)－典型元素－ 第3章 金属元素(Ⅱ)－遷移元素－
後期	第4編 有機化合物	第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物
	第5編 高分子化合物	第4章 芳香族化合物 第1章 高分子化合物の性質 第2章 天然高分子化合物 第3章 合成高分子化合物

3

評価は次の3観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察・実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	日常生活や社会の中で、物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

※令和3年度以前の入学生については、従来の評価方法による。

生物基礎 (午後)	単位数	2単位
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象についての理解を深めるとともに，観察・実験などの基本的な技能を身に付け，科学的に探究する力や生命を尊重し，環境の保全に寄与する態度を養う。		
使用教科書	『生物基礎』（実教出版）	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	1章 生物の特徴	1節 生物の多様性と共通性 2節 生物とエネルギー
	2章 遺伝子とその働き	1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報とタンパク質の合成
後期	3章 ヒトのからだの調節	1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫
	4章 生物の多様性と生態系	1節 植生と遷移 2節 植生とバイオーム 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全

3 評価

評価は次の3観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	日常生活や社会の中で，生物や生物現象に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

※令和3年度以前の入学生については，従来の評価方法による。

地学基礎 (午後)	単位数	2単位
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究しようとする力や自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
使用教科書	『高等学校 地学基礎』(第一学習社)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	第1章 地球のすがた	第1節 地球の概観 第2節 プレートの運動
	第2章 地球の活動	第1節 地球 第2節 火山活動
	第3章 大気と海洋	第1節 地球のエネルギー収支 第2節 大気と海水の運動
後期	第4章 宇宙と地球	第1節 宇宙と太陽の誕生 第2節 太陽系と地球の誕生
	第5章 生物の変遷と地球環境	第1節 地層と化石 第2節 地球と生物の変遷
	第6章 地球の環境	第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境

3 評価

評価は次の3観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	日常生活や社会の中で、地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

※令和3年度以前の入学生については、従来の評価方法による。

物理基礎 (午後)	単位数	2単位
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究する力や態度を養う。		
使用教科書	『物理基礎』(実教出版)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	1章 物体の運動	1節 運動の表し方 2節 力と運動の法則
	2章 エネルギー	1節 運動とエネルギー 2節 熱
後期	3章 波	1節 波とは何か 2節 音波
	4章 電気	1節 物質と電流 2節 磁場と電流
	5章 物理と社会	1節 エネルギーとその利用

3 評価

評価は次の3観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付ける。	物体の運動と様々なエネルギーから問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	日常生活や社会の中で、物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

※令和3年度以前の入学生については、従来の評価方法による。

化学 (午後授業)	単位数	4単位
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付け、科学的に探究する力や態度を養う。		
使用教科書	『新編 化学』(数研出版)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	第1編 物質の状態	第1章 固体の構造 第2章 物質の状態変化 第3章 気体 第4章 溶液
	第2編 物質の変化	第1章 化学反応とエネルギー 第2章 電池と電気分解 第3章 化学反応の速さとしくみ 第4章 化学平衡
	第3編 無機化学	第1章 非金属元素 第2章 金属元素(I)－典型元素－ 第3章 金属元素(II)－遷移元素－
後期	第4編 有機化合物	第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物
	第5編 高分子化合物	第4章 芳香族化合物 第1章 高分子化合物の性質 第2章 天然高分子化合物 第3章 合成高分子化合物

3

評価は次の3観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察・実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	日常生活や社会の中で、物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

※令和3年度以前の入学生については、従来の評価方法による。

化学基礎 (夜間)	単位数	2単位
	履修区分	年次履修

1 科目の概要

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な基本的技能を身に付け、科学的な見方・考え方ができる力と地球環境の保全のために主体的に学ぶ態度を養う。		
使用教科書	『化学基礎』（実教出版）	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	序章 物質と化学 1章 物質の構成	1節 物質の探究 2節 物質の構成粒子
	2章 物質と化学結合	1節 イオン結合 2節 共有結合と分子間力
後期	2章 物質と化学結合	3節 金属結合 4節 化学結合と物質
	3章 物質の変化	1節 物質量と化学反応式 2節 酸と塩基 3節 酸化還元反応

3 評価

評価は次の3観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、探究活動に必要な情報収集、検証実験、記録などの技能を身に付けている。	物質とその変化から課題を見出し、科学的に探究活動を行い、得られた結果を分析・解釈し、表現している。	日常生活や社会生活の中で、物質とその変化に関心をもち、見通しをもって探究活動を行い、仲間との意見交換や学習内容を振り返るなど、主体的に学ぼうとしている。

※令和3年度以前の入学生については、従来の評価方法による。

科学と人間生活 (夜間)	単位数	2単位
	履修区分	年次履修

1 科目の概要

学習目標	自然や科学技術と人間生活の深い関わりについての理解を深めるとともに、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な基本的技能を身に付け、科学的な見方・考え方ができる力と私たちのよりよい暮らしのために主体的に学ぶ態度を養う。		
使用教科書	『高等学校 科学と人間生活』(第一学習社)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	第Ⅰ編 科学技術の発展	第1章 物質の科学 第2章 生命の科学
	第Ⅱ編 人間生活の中の科学	
後期	第Ⅱ編 人間生活の中の科学	第3章 熱や光の科学 第4章 宇宙と地球の科学
	第Ⅲ編 これからの科学と人間生活	

3 評価

評価は次の3観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、自然の事物・現象について理解するとともに、探究活動に必要な情報収集、検証実験、記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から課題を見出し、科学的に探究活動を行い、得られた結果を分析・解釈し、表現している。	日常生活や社会生活の中で、自然の事物・現象に関心をもち、見通しをもって探究活動を行い、仲間との意見交換や学習内容を振り返るなど、主体的に学ぼうとしている。

※令和3年度以前の入学生については、従来の評価方法による。

地学基礎 (夜間)	単位数	2単位
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について関心を高め、理解を深めるため、課題追究に必要な基本的な技能を身につけ、科学的に探究するために必要な資質と能力を養う。		
使用教科書	『高等学校 改訂 地学基礎』(第一学習社)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	第1章 宇宙における地球	第1節 宇宙の構成 第2節 太陽 第3節 太陽系の中の地球
	第2章 活動する地球	第1節 地球の姿 第2節 火山活動と地震
後期	第3章 移り変わる地球	第1節 地層や岩石と地質構造 第2節 地球環境と生物界の変遷
	第4章 大気と海洋	第1節 地球の熱収支 第2節 大気と海洋の運動
	第5章 地球の環境	第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境

3 評価

履修の条件	なし
評価の方法	出欠、授業態度、考査、提出物等により総合的に行います。
留意事項	なし
アドバイス	宇宙における地球や変動する地球の姿を学び、変化する地球環境や自然環境の理解を深めましょう。

生物基礎 (夜間)	単位数	4単位
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について関心を高め，理解を深めるため，課題追究に必要な基本的な技能を身につけ，科学的に探求するために必要な資質と能力を養う。		
使用教科書	『高校生物基礎 新訂版』(実教出版)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	1章 生物の特徴	1節 生物の多様性と共通性 2節 細胞とエネルギー
	2章 遺伝子とその働き	1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報の分配 3節 遺伝情報とタンパク質の合成
後期	3章 生物の体内環境とその維持	1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫
	4章 生物の多様性と生態系	1節 植生と遷移 2節 気候とバイオーム 3節 生態系と物質循環 4節 生態系のバランスと保全

3 評価

履修の条件	なし
評価の方法	出欠，授業態度，考査，提出物等により総合的に行います。
留意事項	卒業後，理学・医療系大学や看護医療専門学校などへの進学を考えている人に向いています。
アドバイス	生物の多様性や共通性の学びを通して，私たちのからだのしくみについて理解をふかめましょう。

物理基礎 (夜間)	単位数	2単位
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて関心を高め、理解を深めるため、課題追究に必要な基本的な技能を身につけ、科学的に探究するために必要な資質と能力を養う。		
使用教科書	『高校物理基礎 新訂版』(実教出版)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	1章 物体の運動	1節 運動の表し方 2節 力 3節 運動の法則
	2章 エネルギー	1節 運動とエネルギー 2節 熱とエネルギー
後期	3章 波	1節 波の性質 2節 音と振動
	4章 電気	1節 電流の流れ方 2節 電気の利用
	5章 人間と物理	1節 エネルギーとその利用 2節 物理学が拓く世界

3 評価

履修の条件	なし
評価の方法	出欠、授業態度、考査、提出物等により総合的に行います。
留意事項	主に計算問題を解く科目のため、「数学Ⅰ」を履修後が望ましい。
アドバイス	運動の法則をはじめとする物理の基本法則を学び、計算問題を解きながら、さまざまな物理現象の理解を深めましょう。

物理基礎 (夜間部)	単位数	2単位 (70時間 40分授業)
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについて関心を高め，理解を深めるため，課題追究に必要な基本的な技能を身につけ，科学的に探究するために必要な資質と能力を養う。		
使用教科書	『高校物理基礎 新訂版』(実教出版)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	1章 物体の運動	1節 運動の表し方 2節 力 3節 運動の法則
	2章 エネルギー	1節 運動とエネルギー 2節 熱とエネルギー
後期	3章 波	1節 波の性質 2節 音と振動
	4章 電気	1節 電流の流れ方 2節 電気の利用
	5章 人間と物理	1節 エネルギーとその利用 2節 物理学が拓く世界

3 評価

履修の条件	なし
評価の方法	出欠，授業態度，考査，提出物等により総合的に行います。
留意事項	主に計算問題を解く科目のため，「数学Ⅰ」を履修後が望ましい。
アドバイス	運動の法則をはじめとする物理の基本法則を学び，計算問題を解きながら，さまざまな物理現象の理解を深めましょう。

化学 (夜間部)	単位数	4単位 (140時間 40分授業)
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、様々な物質や化学変化などを取り扱い、課題追究を重ねながら、人間生活の中の化学について深く探究しようとする資質と能力を養う。		
使用教科書	『改訂 新編 化学』(東京書籍)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	1編 物質の状態	1章 物質の状態 2章 気体の性質 3章 溶液の性質 4章 化学結合と固体の構造
	2編 化学反応とエネルギー	1章 化学反応と熱・光 2章 電池と電気分解
	3編 化学反応の速さと平衡	1章 化学反応の速さ 2章 化学平衡 3章 水溶液中の化学平衡
	4編 無機物質	1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物 4章 遷移元素の単体と化合物 5章 無機物質と人間生活
後期	5編 有機化合物	1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素 3章 アルコールと関連化合物 4章 芳香族化合物 5章 有機化合物と人間生活
	6編 高分子化合物	1章 天然高分子化合物 2章 合成高分子化合物 3章 高分子化合物と人間生活

3 評価

履修の条件	化学基礎を履修済みであること。
評価の方法	出欠、授業態度、考査、提出物等により総合的に行います。
留意事項	卒業後、理学・医療系大学や看護医療専門学校などへの進学を考えている人に向いています。
アドバイス	化学基礎との関連を図りながら、様々な物質や化学変化などを取り扱い、専門的な化学の世界を学びましょう。

地学基礎 (夜間部)	単位数	2単位 (70時間 40分授業)
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について関心を高め、理解を深めるため、課題追究に必要な基本的な技能を身につけ、科学的に探究するために必要な資質と能力を養う。		
使用教科書	『改訂 高等学校 地学基礎』(第一学習社)	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	第1章 宇宙における地球	第1節 宇宙の構成 第2節 太陽 第3節 太陽系の中の地球
	第2章 活動する地球	第1節 地球の姿 第2節 火山活動と地震
後期	第3章 移り変わる地球	第1節 地層や岩石と地質構造 第2節 地球環境と生物界の変遷
	第4章 大気と海洋	第1節 地球の熱収支 第2節 大気と海洋の運動
	第5章 地球の環境	第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境

3 評価

履修の条件	なし
評価の方法	出欠、授業態度、考査、提出物等により総合的に行います。
留意事項	なし
アドバイス	宇宙における地球や変動する地球の姿を学び、変化する地球環境や自然環境の理解を深めましょう。